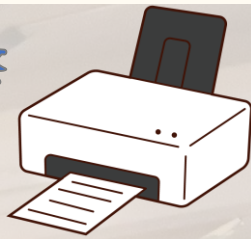


近畿京滋会30周年自計化強化特別研修 『FXクラウドシリーズを徹底理解！！』

～提案から活用まで～



日時：令和4年4月19日（火）13:30～17:00 場所：メルパルク京都

1. TKC全国会の方針が事務所の方針

お客様にも社員にもお伝えする**方針を掲げることが重要だと考えています**。今年は右図の「**経理業務効率化支援**」を重点戦略として取り組んでいます。（事務所HPにも掲載）

2022年 戦略マップ



2. DX支援が事務所の柱 方針:担当者1人につき1社実践

<< **税務だけでは差別化できない。税務は誰がやっても同じ。** >>

仕訳入力から

仕訳連携へ

FXクラウド推進にあたり、巡回監査・全部監査を実施することは変わらず、変えるもの変わるべきものを明確化して方針を出しました。方針は、次の通り。

料金表の整備 担当者1人につき1社 証憑保存セット提案



Wモニター・トリプルモニターは当たり前

3. 時間的・人的制約をFXクラウドで解消

FXクラウドシリーズが提供され、立上げ作業が圧倒的に合理化しました。具体的には、事務所の担当者複数名で同時に科目情報、残高、口座、取引先、仕訳辞書を分担して登録することができています。

4. 証憑保存機能の推進方針

電子インボイス制度が始まると、電子取引が増加することが見込まれます。電子取引データを監査時にチェックすることが煩雑化する、と予想されます。その観点から証憑と伝票を関連付けすることが非常に大事だと考え、活用しています。

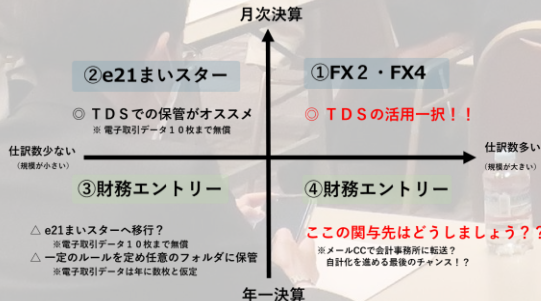
■方針1:TDSを全社提案

■方針2:TDS導入NGだった場合

✓NGの理由は「料金」→電子取引データが月1枚で1,200円かかるの？

✓電子取引データに限り、10枚/月まで無償で提供することを決定。

5. 改正電子帳簿保存法 対応への準備を開始しましょう！



令和4年1月から**証憑保存機能が標準搭載**され、利用を開始しやすく改善されています。利用先のご相談等、SCGがサポートします。まずは優先順位を決めましょう！

分科会

- 『FXクラウドシステムの導入で事務所の業務をどう変革するか！』
- 『自計化の提案の仕方、説得する方法』
- 『FXクラウドシリーズ はじめの一步研修』

作成:TKC京都SCGサービスセンター岩佐



税理士法人 青木&パートナーズ
代表社員税理士
FXクラウドシリーズ小委員長
青木 宏之先生

事務所概要

昭和51年9月 開業
スタッフ紹介 総勢37名+RPA
<本店> 約265社
<青葉支店> 約150社

- ① 翌月監査率 :88.3%
- ② 継続MAS予算 :96.7%
- ③ FXシリーズ :92.5%
- ④ 書面添付 :86.5%
- ⑤ FX2シリーズ :227社
- ⑥ クラウドシリーズ :50件
- ⑦ 証憑保存機能利用:154件



佐藤会長より締めのご挨拶



青木先生のお話をお聞きして、大きな衝撃を受けました。事務所KPIから、40日決算は当たり前で、職員レベルも高く、標準業務のレベルも高いことが推測できます。この圧倒的な違いに気づいていただきたい。
4大業務を正々堂々と実践していくためのインフラが、FXシリーズです。地域会でも全国会でも「新規自計化推進」に注力することが目標として掲げられています。
『**職域防衛**』としてTKCシステムの活用して職業会計人の仕事を表舞台に出すということがTKC全国会の方針です。この研修会を機に、ぜひFXシリーズの推進に取り組みましょう！